幌延町かわまちづくり

計 画 書

令和８年６月

幌 延 町

＜様式２＞

かわまちづくりの概要

１．市町村の概要	
①都道府県名	北海道
②市町村名	幌延町
③人口	1,999 人（令和 8 年 4 月 1 日現在）
④面積	574.1km^2

幌延町は、北海道の北部に位置し、北緯 45 度線上にあって北方圏のほぼ南端にあり、北は豊富町、猿払村、東は浜頓別町、中頓別町、南は中川町、天塩町に接し、西は日本海に面しています。町の総面積 574.1km^2 のうち 63%を山林が占めていますが、標高は比較的低く、全体的に緩やかな傾斜となっています。河川は、日本有数の大河である天塩川をはじめ、その支流であるサロベツ川、問寒別川など約 70 河川が流れています。天塩川とその支流の流域には、サロベツ原野、トイカンベツ平野をはじめとする平野が広がっています。サロベツ原野は、その多様な湿原植生や砂丘湖沼の水草、水鳥が渡来するなどの特性から、平成 17 年にラムサール条約湿地に登録されました。



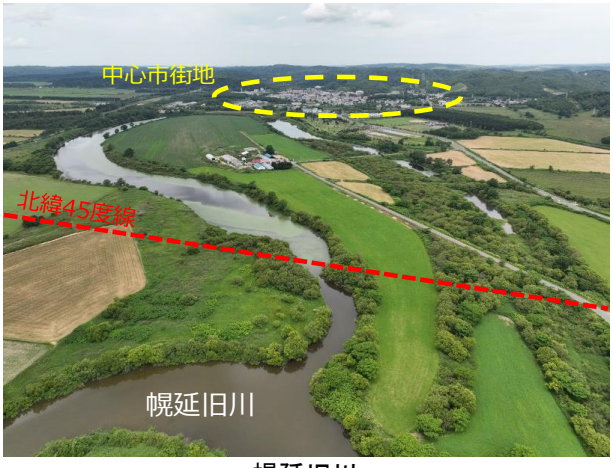
幌延町位置図

２．河川の概要

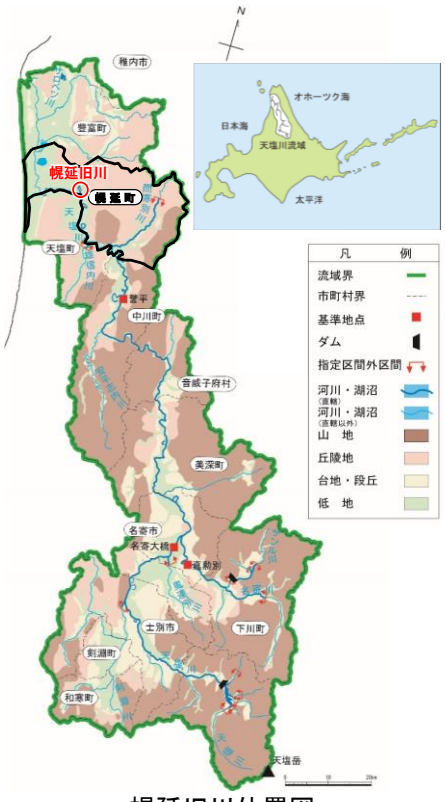
天塩川は、その源を天塩岳に発して山間の平野部を流下し、天塩平野に入って問寒別川等の支川と合流して日本海に注ぐ、幹川流路延長 256km、流域面積 5,590km^2 の一級河川です。幌延旧川は、かつて天塩川本川の流路でしたが、洪水対策として昭和 32 年に実施された捷水路（上幌延 1 号新水路）の整備により流路が切り替えられ、昭和 55 年の旧流路の締め切りにより形成された内水面積約 24ha の河跡湖です。

幌延旧川は、幌延町の中心市街地近くに位置し、幌延町中心部の住民の生活圏内であるほか、JR 宗谷本線 幌延駅や国道 40 号幌富バイパス 幌延インターチェンジから近く、幌延町内外からのアクセス性が良好な場所に位置します。更に、幌延旧川は北緯 45 度線が交差しており、カヌーで北緯 45 度線を通過することができる稀有な立地環境を有しています。

更に、幌延旧川周辺は良好な自然環境が残されており、エゾウグイ、エゾトミヨ等の魚類が生息しているほか、渡り鳥の飛来地となっています。また、カヌーによる利活用がされており、樹木繁茂区間の通過や、人工物が視界内に入らない空間での漕艇は非日常的な雰囲気を体験することができます。



幌延旧川



幌延旧川位置図

① これまで実施済みの関連施策

・幌延町総合スポーツ公園（平成 8 年）

実施場所：幌延町元町、上幌延地先（幌延旧川東側）

施策目的：町民の健康増進、スポーツ普及

事業内容：

幌延町民の健全な心身の発達とスポーツの普及、振興を目的に、平成 8 年に幌延町総合スポーツ公園が幌延旧川の東側沿川に整備されました。幌延町総合スポーツ公園は野球場、球技場、パークゴルフ場及びゲートボール場等により構成されます。

事業主体：幌延町

整備内容：公園、トイレ整備（町）





幌延町総合スポーツ公園

関連 URL：幌延町 ホームページ
(https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/section/edu/le009f0000000dwg.html)

・親水広場（平成 13 年）

実施場所：幌延町字幌延地先

施策目的：水辺利用の促進、自然観察、その他

事業内容：

幌延旧川内の親水広場は、旧川周辺での水遊び等の親水利用を促進するため、平成 13 年に河川管理者（北海道開発局 留萌開発建設部）により整備されました。また、親水広場の整備と合わせて、木製のテラスが設置されました。親水広場は、後述の「ふるさと自然体験チャレンジ教室」や「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペッ」等で幌延旧川におけるカヌー利用の拠点として利活用されています。

事業主体：国土交通省北海道開発局留萌開発建設部

整備内容：法面整形、管理用道路、水質観測架台整備（国）




幌延旧川親水広場

② 市民や民間事業者による河川利活用状況

・ふるさと自然体験チャレンジ教室

事業期間：平成 15 年～

主催：幌延町教育委員会

実施内容：

「ふるさと自然体験チャレンジ教室」は、ふるさとの豊かな自然を生かし、四季を通して自然とふれあうとともに、親子・異世代また地域の人たちと交流する、地域を知る・見つめなおす機会として、平成 15 年から開催しています。地引網＆釣り体験、カヌー体験、アウトドア体験、酪農体験等、地元団体等と連携した計 6 回程度のプログラムから構成されます。カヌー体験では、地元アウトドア団体「遊考会」を講師に招き、幌延旧川の親水広場を拠点に、カヌーを楽しみながら、カヌーの操作方法やルールを学ぶとともに、生物観察等を通じて自然体験に利活用されています。



カヌー体験の様子



生物観察

関連 URL：幌延町 ホームページ
(https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/section/edu/tayori/le009f000001b63j.html)

・サロベツの三日月湖探検　大自然カヤックツアー

事業期間：令和 4 年～

主催：ポラリス・ネイチャーガイズ＆コンサルタンツ

実施内容：

北海道・宗谷エリアを拠点に自然ガイドを展開するポラリス・ネイチャーガイズ＆コンサルタンツでは、令和 4 年より初心者や幼児でも体験可能な幌延旧川におけるカヤックツアーを実施しています。





カヤックツアーの様子

関連 URL：ポラリス・ネイチャーガイズ＆コンサルタンツ ホームページ
(https://polaris-guide.com/)

・天塩川カヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペッ」

事業期間：令和 6 年、令和 7 年

主催：NPO 法人ダウン・ザ・テッシ

実施内容：

天塩川カヌーツーリング大会「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペッ」は、平成 4 年から続く国内最大のリバーカヌーのツーリングイベントです。毎年、2 日間かけて天塩川の 40～50㎞の区間を下る、雄大な北海道にふさわしい壮大なイベントです。また、4 年に一度は、4 日間にわたり 100 マイル（約 160㎞）を下る「ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ スペシャル」が開催されます。

令和 6 年 7 月 13 日(土)～14 日(日)に開催された「ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ 2024」（第 31 回大会）では、中川町の天塩川佐久橋付近をスタートして 2 日間で約 47㎞を下り、幌延旧川の親水広場がゴール地点として初めて利用されました。また、翌年の令和 7 年 8 月 2 日(土)～3 日(日)に開催された「ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ 2025」（第 32 回大会）では、カヌー講習会や天塩川河口へ向かうコースのスタート地点として幌延旧川が利用されました。




ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ 2024　幌延旧川の利活用の様子




ダウン･ザ･テッシ-オ-ペッ 2025　幌延旧川の利活用の様子

関連 URL：NPO 法人ダウン・ザ・テッシホームページ
(https://teshiogawa.net/)